

百人一首↓五言絶句

百人一首をもとに五言絶句百首を詠んでみた。

原作から読み取ったこと、

あるいは私が勝手に想像を膨らませたことを五言絶句にしたもので
翻訳というより翻案に近い。

なお、押韻および平仄はすべて中華新韻に依拠している。

2025年5月 石倉秀樹

五絶・百人一首之一 2025.04.27 -68827

秋收稻穗處，過夜在窩棚。苦蓋粗含露，寒濡衣袖凌。

（原玉）天智天皇 百人一首1

秋の田の 仮庵の庵の 苦をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ

五絶・百人一首之二 2025.04.27 -68828

春歸初夏候，花瘦綠肥鮮。晾晒白紗見，“天之香具山”。

（原玉）持統天皇 百人一首2

春過ぎて夏来にけらし白妙の 衣ほすてふ天の香具山

五絶・百人一首之三 2025.04.27 -68829

山雞垂尾羽，好像柳枝長。永夜孤眠寂，枕頭寒月霜。

（原玉）柿本人麻呂 百人一首3

あしひきの山どりの尾のしだり尾の ながながし夜をひとりかもねむ

五絶・百人一首之四 2025.04.27 -68830

偶遊田子浦，觀看海濤滄。富士高峰聳，皚皚積雪光。

（原玉）山部赤人 百人一首4

田子の浦にうちいでて見れば白妙の 富士の高嶺に雪はふりつつ

五絶・百人一首之五 2025.04.27 -68831

紅葉盈山落，徑通林奧幽。呦呦鳴鹿在，孤客感悲秋。

（原玉）猿丸太夫 百人一首5

奥山に 紅葉踏みわけ 鳴く鹿の声きく時ぞ 秋は悲しき

五絶・百人一首之六 2025.04.27 -68832

仰看鵲橋邊，星星若霜耀。陶然人感知，良宵已闌好。

（原玉）中納言家持 百人一首6

かささぎのわたせる橋におく霜の 白きを見れば夜ぞふけにける

五絶・百人一首之七 2025.04.27 -68833

長安畫樓上，思土欲窮觀。“春日”中秋月，將臨“三笠山”。

（原玉）安倍仲麿 百人一首7

天の原 ふりさけ見れば 春日なる三笠の山に 出でし月かも

五絶・百人一首之八 2025.04.27 -68834 改

樂道安貧喜，結廬“宇治山”。世人觀我哂，愚至盞中仙。

（原玉）喜撰法師 百人一首8

我が庵は都のたつみしかぞすむ 世を宇治山と人はいふなり

五絶・百人一首之九 2025.04.27 -68835

聽雨倚欄愁，眼前花褪色。閨中對鏡知，衰貌空溫克。

（原玉）小野小町 百人一首9

花の色は うつりにけりな いたづらにわが身世にふる ながめせしきに

五絶・百人一首之十 2025.04.27 -68836

往人登碧山，来者下青天。再會歸途上，有名逢坂關。

（原玉）蟬丸 百人一首10

これやこの 行くも帰るも 別れては知るも知らぬも 逢坂の関

五絶・百人一首之十一 2025.04.28 -68837

流罪破滄波、已過瓊島多。請君垂釣客、轉告我如何。

（原玉）参議 篁 百人一首11

わたの原 八十島かけて 漕ぎ出でぬと 人にはつげよ あまのつり舟

五絶・百人一首之十二 2025.04.28 -68838

庶幾風以雲、封鎖上天門。因此留仙女、猶陪我醉醺。

（原玉）僧正遍昭 百人一首12

天津風 雲の通ひ路吹きとぢよをとめの姿 しばしとどめむ

五絶・百人一首之十三 2025.04.28 -68839

“筑波”山頂涌、男女兩名川。戀慕合流注、大湖成美觀。

（原玉）陽成院 百人一首13

筑波嶺の峰よりおつる男女川 恋ぞつもりて淵となりぬる

五絶・百人一首之十四 2025.04.28 -68840

東施服飾巧、蓮歩蕩腰來。花樣輕搖晃、不覺青眼開。

（原玉）河原左大臣 百人一首14

陸奥の しのぶもぢずり 誰ゆるゑに 乱れそめにし われならなくに

五絶・百人一首之十五 2025.04.28 -68841

爲君春野摘、嫩菜破霜來。粉雪貼衣袖、陰天雲未開。

（原玉）光孝天皇 百人一首15

君がため春の野に出でて若菜つむ 我が衣手に雪はふりつつ

五絶・百人一首之十六 2025.04.29 -68842

將去傾離酒、喜聽君美言。如松聳山頂、等待我歸還。

（原玉）中納言行平 百人一首16

立ち別れ いなばの山の峰に生ふる まつとしきかば 今かへり来む

五絶・百人一首之十七 2025.04.29 -68843

紅葉如唐錦，輕浮秋水流。山中若神代，佳景促清遊。

（原玉）在原業平朝臣 百人一首17

千早ぶる 神代もきかず 龍田川 からくれなゐに 水くくるとは 在原業平朝臣

五絶・百人一首之十八 2025.04.29 -68844

暗夜聞波響，欲尋花貌幽。避開人目去，夢裡棹輕舟。

（原玉）藤原敏行朝臣 百人一首18

住の江の 岸による波 よるさへや 夢の通ひ路 人目よくらむ

五絶・百人一首之十九 2025.04.29 -68845

生涯逢幾度，君賞我嬋娟。幽會“難波潟”，短如蘆管間。

（原玉）伊勢 百人一首19

難波潟 みじかき芦の ふしの間も あはでこの世を 過ぐしてよとや

五絶・百人一首之二十 2025.04.29 -68846

思君難斷戀，朱唇眞愛嬌。欲逢心不穩，情海作浮標。

（原玉）元良親王 百人一首20

わびぬれば 今はた同じ 難波なる 身をつくしても 逢はむとぞ思ふ

五絶・百人一首之二十一 2025.04.29 -68847

欣聞告知好，長夜待君來。空仰銀河後，黎明迎月開。

（原玉）素性法師 百人一首21

今来むと いひしばかりに 長月の 有明の月を 待ち出でつるかな

五絶・百人一首之二十二 2025.04.29 -68848

草木將凋落，紅黃滿碧山。山風作嵐字，秋晚霧生寒。

（原玉）文屋康秀 百人一首22

吹くからに秋の草木のしをるれば むべ山風をあらしといふらむ

五絶・百人一首之二十三 2025.04.30 -68849

玩月何傷感，秋思種種悲。金風吹到處，愁淚大家垂。

（原玉）大江千里 百人一首23

月見ればちぢにものこそ悲しけれ わが身ひとつの秋にはあらねど

五絶・百人一首之二十四 2025.04.30 -68850

出旅匆忙處，不能攜幣帛。善哉紅葉美，堪獻請神謨。

（原玉）菅家 百人一首24

このたびは幣も取りあへず 手向山紅葉のにしき 神のまにまに

五絶・百人一首之二十五 2025.04.30 -68851

夢想和君喜，共尋“逢坂山”。避開人目好，葛藟匿交歡。

（原玉）三条右大臣 百人一首25

名にしおはば逢坂山の小寝葛（さねかづら） 人に知られでくるよしもがな

五絶・百人一首之二十六 2025.04.30 -68852

滿山紅葉美，有意請靈元。等待來行幸，保持景觀妍。

（原玉）貞信公 百人一首26

小倉山峰のもみぢ葉 心あらば 今ひとたびの みゆき待たなむ

五絶・百人一首之二十七 2025.04.30 -68853

泉水“瓶原”涌，二分田野流。哪天何處始，戀慕若斯愁。

（原玉）中納言兼輔 百人一首27

みかの原 わきて流るる 泉川 いつみきとてか 恋しかるらむ

五絶・百人一首之二十八 2025.04.30 -68854

山村冬寂寞，草木已凋零。觀雪埋人跡，爐邊抱酒瓶。

（原玉）源宗于朝臣 百人一首28

山里は冬ぞさびしさ まさりける 人めも草も かれぬと思へば

五絶・百人一首之二十九 2025.04.30 -68855

胡猜采摘好，籬落日精白。降了初霜似，菊花破蕾開。

（原玉）凡河内躬恒 百人一首29

心あてに折らばや折らむ 初霜のおきまどはせる 白菊の花

五絶・百人一首之三十 2025.04.30 -68856

別君仰天看，月貌冷黎明。以後頻傷感，浪愁拂曉生。

（原玉）壬生忠岑 百人一首30

有明のつれなく見えし 別れより 暁ばかり うきものはなし

五絶・百人一首之三十一 2025.04.30 -68857

破曉月光峰，宛如白晝明。陶然未厭觀，“吉野”雪多情。

（原玉）坂上是則 百人一首31

朝ぼらけ 有明の月と 見るまでに 吉野の里に ふれる白雪

五絶・百人一首之三十二 2025.05.01 -68858

眼前溪澗有，堰水柵欄流。紅葉風飄落，輕浮難進留。

（原玉）春道列樹 百人一首32

山川に風のかけたる しがらみは 流れもあへぬ もみぢなりけり

五絶・百人一首之三十三 2025.05.01 -68859

春日暄妍處，櫻花無靜心。終天繚亂舞，好像雪沈沈。

（原玉）紀友則 百人一首33

久かたの 光のどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ

五絶・百人一首之三十四 2025.05.01 -68860

有誰堪取友，只有海濱松。守默林林聳，難挑選好朋。

（原玉）藤原興風 百人一首34

誰をかも 知る人にせむ 高砂の 松もむかしの 友ならなくに

五絶・百人一首之三十五 2025.05.01 -68861

世人思若何？我眷戀家郷。院落花猶在，依舊放芳香。

（原玉）紀貫之 百人一首35

人はいさ心も知らず ふるさとは花ぞむかしの香ににほひける

五絶・百人一首之三十六 2025.05.01 -68862

短夜拂晨早，東天已顯明。嫦娥何處在，住宿斷雲中？

（原玉）清原深養父 百人一首36

夏の夜はまだよひながら 明けぬるを雲のいつこに 月やどるらむ

五絶・百人一首之三十七 2025.05.01 -68863

郊野金風過，鱗鱗白露留。無人連綴玉，散亂自難收。

（原玉）文屋朝康 百人一首37

白露に風の吹きしく 秋の野は つらぬきとめぬ 玉ぞ散りける

五絶・百人一首之三十八 2025.05.02 -68864

無恨蒙遺忘，連綿我戀情。然而惜那命，曾所共山盟。

（原玉）右近 百人一首38

忘らるる身をば思はず 誓ひてし人の命の惜しくもあるかな

五絶・百人一首之三十九 2025.05.02 -68865

竹篠叢里見，點點草茅生。慕戀難封印，思君憶舊情。

（原玉）参議等 百人一首39

浅茅生のをのしの原しのぶれど あまりてなどか 人の恋しき

五絶・百人一首之四十 2025.05.02 -68866

神色難藏匿，戀情愁內心。友人頻訊問，守默念何沈？

（原玉）平兼盛 百人一首40

しのぶれど色に出でにけり わが恋はものや思ふと 人の問ふまで

五絶・百人一首之四十一 2025.05.02 -68867

偷偷開始戀，早早已飛聲。取樂詩朋報，世人知我名。

（原玉）壬生忠見 百人一首41

恋すてふわが名はまだき 立ちにけり 人知れずこそ 思ひそめしか

五絶・百人一首之四十二 2025.05.02 -68868

海嘯不能越，松山天聳高。如斯守約處，感淚若波濤。

（原玉）清原元輔 百人一首42

契りきなかたみに袖をしぼりつつ 末の松山 波こさじとは

五絶・百人一首之四十三 2025.05.02 -68869

幽會交歡後，相思於以前。往時徒盼望，單戀仰蒼天。

（原玉）權中納言敦忠 百人一首43

逢ひ見ての 後の心にくらぶれば 昔はものを 思はざりけり

五絶・百人一首之四十四 2025.05.03 -68870

有恨難逢會，別余煩悶留。萬一無見面，反倒不悲愁。

（原玉）權中納言敦忠 百人一首44

逢ふことの 絶えてしなくは なかなか 人をも身をも 恨みざらまし

五絶・百人一首之四十五 2025.05.03 -68871

無人憐憫我，身只有形骸。日日徒然老，天天思去來。

（原玉）謙徳公 百人一首45

あはれとも いふべき人は 思ほえて 身のいたづらになりぬべきかな

五絶・百人一首之四十六 2025.05.03 -68872

戀慕伊人似，艸公失舵浮。“由良”海流快，難看透前途。

（原玉）曾禰好忠 百人一首46

由良のとを わたる舟人 かぢをたえ 行く方も知らぬ 恋の道かな

五絶・百人一首之四十七 2025.05.03 -68873

落脚山中宿，前庭葎草繁。除吾無旅客，寂寞素秋環。

（原玉）惠慶法師 百人一首47

八重むぐらしげれる宿の さびしきに 人こそ見えね 秋はきにけり

五絶・百人一首之四十八 2025.05.03 -68874

悲哉單戀似，白浪洗蒼巖。粉碎強風裡，飛花含味鹹。

（原玉）源重之 百人一首48

風をいたみ 岩うつ波の おのれのみ 砕けてものを 思ふころかな

五絶・百人一首之四十九 2025.05.03 -68875

夜來情焰起，消滅午時天。貼戀如門衛，焚燒篝火燃。

（原玉）大中臣能宣 百人一首49

御垣守 衛士のたく火の 夜はもえ 昼は消えつつ ものをこそ思へ

五絶・百人一首之五十 2025.05.03 -68876

爲君吾敢死，幽會喜交歡。以後衷心願，長生共萬安。

（原玉）大中臣能宣 百人一首50

君がため 惜しからざりし 命さへ ながくもがなと 思ひけるかな

五絶・百人一首之五十一 2025.05.04 -68877

不會明言過，偷偷戀慕君。深情若蓬草，花小但芬芳。

（原玉）藤原実方朝臣 百人一首51

かくとだに えやは伊吹の さしも草 さしも知らじな 燃ゆる思ひを

五絶・百人一首之五十二 2025.05.04 -68878

明白我知道，天亮靠黄昏。遺憾交歡後，臨別霞彩新。

（原玉）藤原道信朝臣 百人一首52

明けぬれば 暮るるものとは 知りながら なほ恨めしき あさばらけかな

五絶・百人一首之五十三 2025.05.04 -68879

思君枕頭雪，明月照愁眠。知否單身寢，夜長心不安。

（原玉）右大将道綱母 百人一首53

歎きつつひとりぬる夜の明くる間は いかにかに久しきものとかは知る

五絶・百人一首之五十四 2025.05.04 -68880

君誓恆心愛，誰能知未來？相逢思敢死，今夜月明開。

（原玉）儀同三司母 百人一首54

忘れじの行末までは難ければ 今日をかぎりの命ともがな

五絶・百人一首之五十五 2025.05.04 -68881

何時飛瀑涸？許久水聲絶。君去留名字，流傳芳未歇。

（原玉）大納言公任 百人一首55

滝の音は絶えて久しくなりぬれど 名こそ流れて なほ聞えけれ

五絶・百人一首之五十六 2025.05.05 -68882

我欲攜回憶，來生過萬安。只今將去世，再次見君歡。

（原玉）和泉式部 百人一首56

あらざらむ この世のほかの 思ひ出に 今ひとたびの 逢ふこともがな

五絶・百人一首之五十七 2025.05.06 -68883

巧遇欣相見，但未盡交歡。夜半瞻明月，乍藏雲暗間。

（原玉）紫式部 百人一首57

巡りあひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲がくれにし 夜半の月かな

五絶・百人一首之五十八 2025.05.06 -68884

山中細竹茂，風裡噪沙沙。不忍心胸跳，思君難忘吧。

（原玉）大弐三位 百人一首58

有馬山猪名のささ原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする

五絶・百人一首之五十九 2025.05.06 -68885

豫知君不來，就寢貪香夢。徹夜仰嫦娥，看清沈曉嶺。

（原玉）赤染衛門 百人一首59

やすらはで寝なましものを 小夜更けて 傾くまでの 月を見しかな

五絶・百人一首之六十 2025.05.06 -68886

君越“大江山”，遙留“天橋立”。如何光景佳？待信心中泣。

（原玉）小式部内侍 百人一首60

大江山 いく野の道の 遠ければ まだふみも 見ず天の橋立

五絶・百人一首之六十一 2025.05.06 -68887

春日“奈良”賞，櫻花重瓣開。暗香流馥郁，喜聞陶醉哉。

（原玉）伊勢大輔 百人一首61

いにしへの 奈良の都の 八重桜 今日九重に 匂ひぬるかな

五絶・百人一首之六十二 2025.05.06 -68888

拂曉扮晨鷄，有聲誑誘巧。然而“逢坂”關，不許通交好。

（原玉）清少納言 百人一首62

夜をこめて鳥のそら音は はかるとも 世に逢坂の 関はゆるさじ

五絶・百人一首之六十三 2025.05.06 -68889

思君難應酬，拋棄吾留戀。此事若何傳？欲將求見面。

（原玉）左京大夫道雅 百人一首63

今はただ 思ひ絶えなむ とばかりを 人づてならで 言ふよしもがな

五絶・百人一首之六十四 2025.05.06 -68890

拂晨“宇治川”，寒霧徐徐散。流水響殷殷，竹箔目前現。

（原玉）権中納言定頼 百人一首64

朝ぼらけ 宇治の川霧 たえだえに あらはれわたる 瀬々の網代木

五絶・百人一首之六十五 2025.05.07 -68891

情思頻喪氣，衣袖淚無乾。有恨多失戀，惡名傳世間。

（原玉）相模 百人一首65

恨みわびほさぬ袖だに あるものを 恋に朽ちなむ 名こそ惜しけれ

五絶・百人一首之六十六 2025.05.07 -68892

散策遇花精，盛開重瓣櫻。山中君與我，無友喜相逢。

（原玉）前大僧正行尊 百人一首66

もろともに あはれと思へ 山桜花よりほかに 知る人もなし

五絶・百人一首之六十七 2025.05.07 -68893

春夜枕肱長，只尋香夢鄉。艷聞傳世上，遺憾肚腸傷。

（原玉）周防内侍 百人一首67

春の夜の 夢ばかりなる 手枕に かひなく立たむ 名こそ惜しけれ

五絶・百人一首之六十八 2025.05.07 -68894

心外於塵世，空延壽命長。將來追憶是，夜半月煌煌。

（原玉）三条院 百人一首68

心にも あらでうき世に ながらへば 恋しかるべき 夜半の月かな

五絶・百人一首之六十九 2025.05.07 -68895

風狂“三室山”，紅葉舞晴天。飄落織綾錦，輕泛“龍田川”。

（原玉）能因法師 百人一首69

あらし吹く三室の山のもみぢ葉は 龍田の川の にしきなりけり

五絶・百人一首之七十 2025.05.07 -68896

寂寞出山宿，逍遙如片雲。景觀同到處，秋氣滿黃昏。

（原玉）良暹法師 百人一首70

寂しさに 宿を立ち出でて ながむれば いづこもおなじ秋の夕暮

五絶・百人一首之七十一 2025.05.07 -68897

門前田稻穂，日暮響沙沙。知道秋風起，茅庵寒意加。

（原玉）大納言経信 百人一首71

夕されば門田の稻葉 おとづれて 芦のまろやに 秋風ぞ吹く

五絶・百人一首之七十二 2025.05.09 -68901

君戀如白浪，撒播多浪花。避開蒙泡沫，翻袖隱山家。

（原玉）祐子内親王家紀伊 百人一首72

音にきく高師の浜の あだ波は かけじや袖の 濡れもこそすれ

五絶・百人一首之七十三 2025.05.09 -68902

遙望峰巔看，櫻花怒放鮮。欣然玩賞願，決不起春煙。

（原玉）権中納言匡房 百人一首73

高砂の尾の上の桜 咲きにけり 外山の霞 たたずもあらなむ

五絶・百人一首之七十四 2025.05.09 -68903

參拜觀音願，伊人改冷情。山風下拂面，寒意凍淩淩。

（原玉）源俊頼朝臣 百人一首74

うかりける人を初瀬の山おろしよ はげしかれとは 祈らぬものを

五絶・百人一首之七十五 2025.05.09 -68904

期待君約束，宛如甘露輝。然而秋欲去，空送落暉悲。

（原玉）藤原基俊 百人一首75

契りおきし させもが露を 命にて あはれ今年の 秋も去ぬめり

五絶・百人一首之七十六 2025.05.09 -68905

行舟航海路，白浪起風中。窮目前途望，波色與雲同。

（原玉）法性寺入道前関白太政大臣 百人一首76

わたの原 漕ぎ出でて見れば 久かたの 雲ゐにまがふ 沖つ白波

五絶・百人一首之七十七 2025.05.09 -68906

蒼巖割澗水，山麓又合流。好像君和我，相逢再共遊。

（原玉）崇徳院 百人一首77

瀬をはやみ岩にせかるる 滝川の われても末に 逢はむとぞ思ふ

五絶・百人一首之七十八 2025.05.09 -68907

關吏在“須磨”，頻聽千鳥唳。難貪香夢佳，夜半悲聲起。

（原玉）源兼昌 百人一首78

淡路島通ふ千鳥の 鳴く声に 幾夜ねざめぬ 須磨の関守

五絶・百人一首之七十九 2025.05.09 -68908

秋風拂面爽，鬢鬢夜雲行。縫隙流光綫，佳哉月影清。

（原玉）左京大夫顕輔 百人一首79

秋風に たなびく雲の 絶え間より もれ出づる月の 影のさやけさ

五絶・百人一首之八十 2025.05.09 -68909

可否信君心，山盟還海誓。黒髪亂無端，今朝思彼此。

（原玉）待賢門院堀河 百人一首80

ながからむ 心も知らず 黒髪の 乱れて今朝は ものをこそ思へ

五絶・百人一首之八十一 2025.05.09 -68910

良宵聽杜鵑，啼血聲悲愴。回看只能知，青天留月亮。

（原玉）後徳大寺左大臣 百人一首81

ほととぎす 鳴きつる方を 眺むれば ただ有明の 月ぞのこれる

五絶・百人一首之八十二 2025.05.09 -68911

思君長怨歎，恰似命將絶。但是空延壽，不堪垂淚疊。

（原玉）道因法師 百人一首82

思ひわび しても命はあるものを 憂きに堪へぬは 涙なりけり

五絶・百人一首之八十三 2025.05.09 -68912

世上無方策，掃除愁悶灰。入山尋靜寂，鹿唳促傷悲。

（原玉）皇太后宮大夫俊成 百人一首83

世の中よ道こそなけれ 思ひ入る 山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる

五絶・百人一首之八十四 2025.05.09 -68913

往日多艱苦，如今眷戀頻。長生若何想，現在抱酸辛。

（原玉）藤原清輔朝臣 百人一首84

ながらへばまたこの頃やし のばれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき

五絶・百人一首之八十五 2025.05.09 -68914

終夜思君過，無眠破曉愁。閨房有空隙，冷意入逗留。

（原玉）俊恵法師 百人一首85

夜もすがらもの思ふ頃は 明けやらで ねやのひまさへ つれなかりけり

五絶・百人一首之八十六 2025.05.09 -68915

明月催傷嘆，因而垂淚頻。如斯托故匿，自己戀伊人。

（原玉）西行法師 百人一首86

なげけとて月やはものを 思はする かこち顔なる わが涙かな

五絶・百人一首之八十七 2025.05.10 -68916

驟雨留珠露，未乾輝晚暉。濛濛煙霧涌，秋氣滿周圍。

（原玉）寂蓮法師 百人一首87

むらさめの 露もまだひぬ まきの葉に 霧立のぼる 秋の夕暮

五絶・百人一首之八十八 2025.05.10 -68917

難忘和君過，“難波江”畔宵。蘆荻繁茂處，不忍戀情焦。

（原玉）皇嘉門院別当 百人一首88

難波江の 芦のかりねの 一夜ゆる 身をつくしてや 恋ひわたるべき

五絶・百人一首之八十九 2025.05.10 -68918

何敢惜一命，亂麻繁小心。長生難忍耐，好久戀情深。

（原玉）式子内親王 百人一首89

玉の緒よ絶なば絶えねながらへば 忍ぶることの よわりもぞする

五絶・百人一首之九十 2025.05.10 -68919

空思給君看，“雄島”海人衣。波浪難濡染，常時顔色齊。

（原玉）殷富門院大輔 百人一首90

見せばやな雄島のあまの 袖だにも 濡れにぞ濡れし 色は変らず

五絶・百人一首之九十一 2025.05.10 -68920

蟋蟀鳴霜夜，孤眠客枕寒。夢中逢鳳女，能否喜交歡？

（原玉）後京極摂政前太政大臣 百人一首91

きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしるに 衣かたしき ひとりかも寝む

五絶・百人一首之九十二 2025.05.10 -68921

退潮能否顯，海底小石頭。我淚常濕袖，無人知此愁。

（原玉）二条院讃岐 百人一首92

わが袖は 潮干にみえぬ 沖の石の 人こそ知らね 乾く間もなし

五絶・百人一首之九十三 2025.05.10 -68922

夕日照沙灘，海人牽釣舟。民淳俗厚好，但願世無憂。

（原玉）鎌倉右大臣 百人一首93

世の中は 常にもがもな 渚こぐ あまの小舟の 綱手かなしも

五絶・百人一首之九十四 2025.05.10 -68923

秋風起“吉野”，更夜古都寒。月下聽隣近，砧聲斷續連。

（原玉）参議雅経 百人一首94

みよし野の 山の秋風 小夜ふけて ふるさと寒く 衣うつなり

五絶・百人一首之九十五 2025.05.10 -68924

装扮僧衣進，入道“比叡山”。將欲擁民衆，無明求慰安。

（原玉）前大僧正慈円 百人一首95

おほけなくうき世の民におほふかなわが立つ杣に墨染の袖

五絶・百人一首之九十六 2025.05.10 -68925

風裡前庭見，櫻花如雪飛。天天身欲老，空抱浪愁悲。

（原玉）入道前太政大臣 百人一首96

花さそふあらしの庭の雪ならでふりゆくものは我が身なりけり

五絶・百人一首之九十七 2025.05.10 -68926

等待來人看，焚燒海藻煙。製塩炎催促，心火聳雙肩。

（原玉）權中納言定家 百人一首97

來ぬ人をまつほの浦の夕なぎに焼くや藻塩の身もこがれつつ

五絶・百人一首之九十八 2025.05.10 -68927

潺潺溪響清，風色帶秋聲。祓禊身心是，夏天行事徵。

（原玉）從二位家隆 百人一首98

風そよぐならの小川の夕暮はみそぎぞ夏のしるしなりける

五絶・百人一首之九十九 2025.05.10 -68928

慨世憂國過，生涯尚志高。愛憎還歎恨，總是正無聊。

（原玉）後鳥羽院 百人一首99

人も惜し人も恨めしあぢきなく世を思ふゆゑにもの思ふ身は

五絶・百人一首之一百 2025.05.10 -68929

進宮頻仰看，骨碎補攀檐。緬想往時嘆，榮華記憶添。

（原玉）順徳院 百人一首100

百敷や古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり

